

長野県坂城町議会

さかき

No. 154

令和元年7月31日

議会だより



ワッショイー
(坂城神社 祇園祭)

5月臨時会・6月定例会

- ・新しい議会構成が決まる …… 2ページ
- ・ここが聞きたい！一般質問13名 … 9ページ

構成が決まる

5月臨時会

5月23日に臨時会が開催され、第30代議長に西沢悦子議員・副議長に小宮山定彦議員を選出し、就任した。

このほか、常任委員会委員や一部事務組合議会議員等の選出も行われた。

また、町長から提案された専決処分事項の報告を承認し、副町長、教育長、教育委員、監査委員の選任に同意した。

就任あいさつ

議長



にしざわ 悦子
にしざわ 悦子

この度、議員の皆様よりご推挙いただき、議長に就任いたしました。

4月の議会議員選挙により、新しい体制で町民皆様の信頼と負託に応えるため開かれた議会をめざします。

新たなまちづくりに向けて、交通網の整備、新工業団地造成、総合的な公衆施設の管理等大きな事業を完成させなければなら

りません。

さらに、あらゆる自然災害に備え、地域全体の防災意識を高める取り組みも喫緊の課題です。

議会として、町民の皆様の声と心を代表し、議会本来の「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」の使命を果たしてまいります。

坂城町を訪れた外国の方が「この町の景色は、私

の知っている日本語で言えば、山紫水明です。」と話されました。守り続けて、次の世代に託すものを大切にしたいと思えます。

暮らし良い、安心して暮らし続けたいまちづくりに精一杯努力し、職責を全うする覚悟です。町民の皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

副議長



こみやま 定彦
こみやま 定彦

4月の議会議員選挙を経て新しい議会がスタートしました。30代1名、40代2名、50代2名、60代1名、計6名の方が新たに議員になられ、議会の年齢構成が一変しました。

その中でこの度、議員各位のご推挙により副議長の職責を務めさせていただきました。町の施策に対し是々

非々の態度を明確にし、狎れ合いを戒め十全なチェック機能を果たすことと町民の皆様の期待と負託に応えられる議会にと力を尽くす所存です。

この約40年間、日本は「少子高齢化は人災」と言われるほど対策を怠ってきました。今後ますます進行していく少子高齢化をどう考え、どう対処し

ていくか、この最大の難問に、町も直面せざるを得ません。

令和3年から向こう10年間の町の最上位計画「第6次長期総合計画」が策定準備に入ります。

議会に、議員それぞれに皆様から積極的な提言をお寄せいただきたいとお願い申し上げます。

新しい議会



議会構成表

所 属		人員	氏 名			
					◎ 委員長	○ 副委員長
常任委員会	総務産業	7	◎滝沢 幸映 ○中島 新一	西沢 悦子 塩野入 猛	吉川まゆみ 玉川 清史	大日向進也
	社会文教	7	◎大森 茂彦 ○栗田 隆	小宮山定彦 中嶋 登	朝倉 国勝 祢津 明子	山城 峻一
議会運営委員会		5	◎吉川まゆみ ○滝沢 幸映	大森 茂彦 塩野入 猛	祢津 明子	
特別委員会	地域交通網対策	7	◎朝倉 国勝 ○山城 峻一	西沢 悦子 中嶋 登	塩野入 猛 吉川まゆみ	玉川 清史
	坂城駅周辺活性化	7	◎大森 茂彦 ○大日向進也	小宮山定彦 滝沢 幸映	栗田 隆 中島 新一	祢津 明子
	広報発行対策	5	◎小宮山定彦 ○山城 峻一	玉川 清史 栗田 隆	大日向進也	
一部事務組合議会議員等	長野広域連合	2	西沢 悦子	塩野入 猛		
	上田地域広域連合	2	小宮山定彦	吉川まゆみ		
	葛尾組合	4	中嶋 登	滝沢 幸映	栗田 隆	中島 新一
	千曲衛生施設組合	3	吉川まゆみ	玉川 清史	大日向進也	
	六ヶ郷用水組合	4	塩野入 猛	朝倉 国勝	滝沢 幸映	山城 峻一
	千曲坂城消防組合	3	大森 茂彦	朝倉 国勝	祢津 明子	
	監査委員		塩野入 猛			

14人のこと



にしざわ えいこ
西沢 悦子
(北日名)

「女性が輝くとき」誰にも必ずあるのでは。仕事と3人の子育ての20年を「忙しい私」だけで生きてきた気がします。そして「もつと頑張れそう」と思った40代後半、生きがい、やりがい、充実感。後で思えば、私、少し輝いていたかも。頑張っている女性たち、必ず来ます「輝くとき」



こみやま さだひこ
小宮山 定彦
(南日名)

趣味がワインと煙草と草刈りなので6月2日の「坂城駅前葡萄酒祭」には公務の意識はなく喜び勇んで出かけた。大盛況に浮かれ酔っぱらって会場の外の道路わきで地べたに腰をおろし喫煙。後日、議会事務局にお叱りの電話。反省もあって一心不乱に暗くなるまで草刈りをした。



なかじま しんいち
中島 新一
(中之条)

家業の飲食店を継ぎ20年余り経ちました。その間、商工会青年部の諸先輩方や企業仲間そして、様々な方と出会い経験や見聞を広げさせていただいております。イベントでは露店を出し、千曲川坂城陣太鼓では、保育園等の夏祭りや県内外の祭りにも出演して郷土の名を広めております。



やましろう いっしろう
山城 俊一
(上五明)

これまで長い間、子ども達と関わる活動してきました。大人になった今、子ども達に私自身が夢や希望を与えられているかと思うことがあります。複雑でまた夢や希望を持ちにくい現代かもしれないけれど、そんな中でもちよつとでも笑顔になれる人でありたいと、思っている私です。



おびなた てつや
大日向 進也
(横町)

坂城で生まれ育ち45年、当たり前ですが町並みは変わりました。しかし、唯一変わらなさと感じるのは「人の優しさ」です。45年間、私はその優しさを沢山いただき、育ててもらいました。これからは、自分が出来ることを一つずつ積み重ねていき、少しでも恩返しできるよう頑張りたい。



ねっ あきこ
柁津 明子
(立町)

高校時代は、ソフトボールに明け暮れ、その後20年間、小・中・高校生にソフトボール指導。毎日子どもと一緒に夢を追った日々。今年には指導を辞めて10年の区切りの年。もう一度、地域の子ども達とスポーツの楽しさを味わおうかと思う今日この頃。東京オリンピックが楽しみです。



くりはら たかし
栗田 隆
(金井)

生物にとって何よりも大事な事は、「種」を繋ぐことです。稲は、お米である「種」を残す事にその一生(?)を費やす。生物としての人間も何ら変わることはない。男の役目は、子孫と、はぐくみ育てる女性への強固な防波堤。後は、黙ってサッポロビール。

選ばれたひと



よしかわ まゆみ
吉川 真由美
(中之条)

節くれだったその手を握っても娘だとわからない96歳の父。ギャンブルが好きで母を困らせた。でも、その父母のおかげで今の自分がある。先日、久々に父を見舞う。うつすらとほほ笑んだ。この父母の苦勞を忘れず、そして、感謝の思いを常に持ち、「恩返し」の4年間を」と、あらためて誓った。



たまがわ きよふみ
玉川 清史
(金井)

初めての一般質問の準備をする中で、未体験の事ばかりで、たくさんの方々と対話の大切さを改めて実感しました。勉強することはいっぱいあります。選挙公約の書かれたリーフはいつも持ち歩いています。初心を忘れず、謙虚な姿勢で、町民と町の橋渡しにすることをめざします。



しおのいり たけし
塩野入 猛
(網掛)

期数が増えると、深読みも増す。深読みが増えると、悩みも増す。どっちへ行くのか、どっちへ行かなければならないのか。そんなときは、孫たちの顔を思い出す。自ずと、その方向が見えてくる。



たまがわ ゆきてる
滝沢 幸映
(御所沢)

月に数回中京方面に出張があり、往復距離は900km程、多しは3千km走ることもある。2トトラックで様々トラブルはあったが、これまで30年間事故はない。ただ、今までのように日帰りの出張がきつくなってきた。今後も、ゴールド免許証の維持と安全運転に努めたい。



なかじま のぼる
中嶋 登
(中之条)

議員を評価するモノサシは選挙での得票数が通知表であると言われている。5期目にして、今までで一番大きな票数で当選させていただき町民の負託が倍増し責任と重責を感じて議場に立ちます。当然前にも増して「坂城町のため町民益優先そして町民ファースト」が、私のマニフェストです。



あさくら くにかつ
朝倉 国勝
(上平)

皆様からの御支援をいただき、2期目をスタートしました。今回の町議選では6人の新人議員が当選され、町議会も若人世代の声が反映される事が考えられ、議会の活性化が図られる事は大変すばらしい事と思います。任期中では新しい坂城町の姿の検討の時となります。共に、頑張る活動です。



おおもり しげひこ
大森 茂彦
(立町)

「一般質問」の難しさ。一度として満足したことがない。自身の政策や町民要望をどう実現させるかは、調査や現場確認、町の計画や財政、国・県の動向を見極めること、どう提案するか。また、首長や教育長の交代時、基本的な考え方を問うことが必要であり、一番の見せ場だ...

5月臨時会

5月23日に開催された第2回臨時会において、平成30年度の一般会計補正予算等の専決処分事項の報告を承認し、副町長、教育長、教育委員及び監査委員の人事案件並びに請負契約を原案のとおり可決した。

小中学校空調整備 設置工事請負契約

町内小中学校の計65教室にエアコンを設置するもの。請負金額は1億5444万円で、契約の相手方は「松澤工業株式会社」。

問 工期の短縮を図れないか。

答 受注生産となるトランスなどの工場生産に時間を要する。工期短縮ができないか検討する。

坂城町税条例等の 一部改正

◆ 個人住民税について、ふるさと納税制度の見直しに伴い総務省から指定

坂城町商工業振興 条例の一部改正

融資等の保証料を補給する資金について、小規模企業発展資金を加え、新事業活性化資金を削るもの。

国民健康保険税 条例の一部改正

医療給付費分の基礎課税額に係る限度額を61万円に引き上げるとともに所得に応じた負担軽減措置の拡大を図った。

介護保険条例の 一部改正

所得に応じ11段階に区分して定めている介護保険料のうち、所得の低い者に対する介護保険料の軽減を図った。

一般会計補正予算

30年度一般会計補正予算(第9号)は、地方交付税の確定や町たばこ税の最終見込みにより769万円を追加し、総額が7億2450万1千円となった。

特別会計補正予算

30年度の最終補正として、いずれも3月29日に専決された。

◆ 有線放送電話特別会計補正予算(第3号)は、

基金繰入金を増額し、総額が1億2052万9千円となった。

◆ 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)は、

保険給付費等の減額に

伴い、6351万4千円を減額し、総額が14億5155万2千円となった。

正予算(第3号)は、保険給付費等の減額に伴い、5341万1千円を減額し、総額が13億9213万4千円となった。

◆ 下水道事業特別会計補正予算(第6号)は、公共下水道事業の増額等に伴い、319万円を増額し、総額が13億4774万8千円となった。

◆ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)は、保険料の確定等により、24万1千円を減額し、総額が2億1326万6千円となった。

◆ 介護保険特別会計補

副町長に 宮崎 義也 氏

前副町長辞任に伴い、新たに任命することについて全会一致で同意した。任期は、令和5年5月31日までの4年間。

教育長に 清水 守 氏

前教育長辞任に伴い、新たに任命することについて全会一致で同意した。任期は、残任期間である令和2年6月30日までの1年1か月間。

教育委員に 高松 陽子 氏

前教育委員辞任に伴い、新たに任命することについて全会一致で同意した。任期は、残任期間である令和2年9月30日までの1年4か月間。

監査委員に 大橋 房夫 氏

任期満了に伴い、識見を有する監査委員として、再任について全会一致で同意した。任期は、令和5年5月31日までの4年間。



公用車(電気自動車)

移動系防災行政無線整備、

町道整備などで7億660万円を追加補正

第2回定例会は6月12日から26日までの会期で開かれ、一般質問には13名が登壇した。専決処分や人事案件のほか、条例の一部改正、令和元年度一般会計補正予算など7件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決した。

一般会計補正予算

令和元年度一般会計補正予算(第1号)の総額は63億8660万円となった。

問 骨格から今回の補正を加え、健全財政面から借り入れの状況をどう見ているか。

答 新規起債額を元金償還額以内とし、今年度末の起債残高が減少見込みとなっている。今後も交付税措置のある起債を活用するなど、健全な財政運営に努める。

問 庁舎等改修工事の内容は。

答 非常用発電機を緊急防災・減災事業債を活用して更新する。

問 総合計画策定事業の調査委託の内容は。

答 今年度は、現総合計画の事業検証、アンケート調査、分析業務等を予定。

問 プレミアム付商品券事業について、対象者の内訳と内容は。

答 住民税非課税世帯と、平成28年4月2日から令和元年9月30日まで

に生まれた子の世帯主が対象。購入希望の引換券等を郵送し購入いただく予定となっている。

問 木育推進事業は何をするのか。

答 県産材を利用し、町内建設業の皆さんを講師に小学生に椅子等の製作をすることで木に親しんでもらう事業を行う。

問 橋梁修繕工事の内容は。

答 継続して実施している昭和橋の床版下面の補修、鼠橋の橋面防水、国道から役場入口の橋の修繕である。

問 しなの鉄道への負担金の内容は。

答 しなの鉄道の車両更新に対する負担で8年間で52両の計画。しなの鉄道、国、県のほか沿線11市町で負担する。今年度は6両の予定で、町負担分は1177万円である。

特別会計補正予算

下水道事業特別会計補正予算(第1号)は、公共下水道事業整備促進のた

めの工事費の増額に伴う補正で、3億6316万円を追加し、総額は12億2278万円となった。

災害弔慰金支給等の条例の一部改正

災害援護資金の貸付において、法令等で条件の緩和がされたことに伴い、「被災」という状況を検討し、保証人については任意設置とする。貸付利率は、保証人がいる場合は無利子、いない場合は1%に引き下げるとともに、年賦償還のみから半年賦及び月賦による償還を加えたもの。

公共施設使用料等の一部改正

消費税及び地方消費税の税率が引き上げられること等から、各施設の使用料を定めた15件の条例の改正を行うもの。改定率は、消費税等が5%から8%に引き上げられた際は10%への引き上げを見据えた経過措置であったことから引き上げを見

送ったことを考慮する中での改定。

なお、びんぐし湯さん館の利用料については、消費税のほか、燃料価格高騰等も鑑みる中で限度額の見直しを行った。

問 湯さん館の料金改定は燃料・資材費高騰分も考慮して上限の設定をしたということだが、他施設については電気料など見込んでの改定なのか。

答 使用料は、電気料の改定等も含み、消費税のアップ分として料金改定となっている。

契約の承認

国道南条鼠・新地の

舗装復旧工事請負契約

国道18号の下水道管渠工事に伴う舗装復旧工事。請負金額は1億2045万円で、契約の相手方は「北信・山辺建設工事共同企業体」。

国道事務所で発注された舗装修繕工事と調整を図り、国道の交通量を考慮して夜間の片側交互通行の規制をして実施。



8年間で車両一新(しなの鉄道)

第2回臨時会(5月)並びに第2回定例会(6月)の審議結果

1 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		(議員氏名)													
		山城	祢津	中島	大日向	栗田	玉川	滝沢	朝倉	吉川	塩野	中嶋	大森	小宮	西沢
		峻一	明子	新一	進也	隆	清史	幸映	国勝	まゆみ	入猛	登	茂彦	山定彦	悦子
条 例	施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	× 反対討論	×	議長職

2 全会一致で可決された議案

(1) 条例等

- ① 地域交通網対策特別委員会の設置
- ② 坂城駅周辺活性化特別委員会の設置
- ③ 広報発行対策特別委員会の設置に関する決議
- ④ 坂城町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

(2) 人事

- ① 副町長の選任
- ② 教育委員会教育長の任命
- ③ 教育委員会委員の任命
- ④ 監査委員の選任(議会選出)
- ⑤ 監査委員の選任(識見者)
- ⑥ 固定資産評価員の選任

(3) 契約

- ① 平成30年度坂城町立小中学校空調設備設置工事請負契約
- ② 令和元年度社会資本整備総合交付金公共下水道事業南条鼠新地地区舗装復旧工事請負契約

(4) 専決処分

- ① 坂城町商工業振興条例の一部改正
- ② 坂城町税条例の一部改正
- ③ 坂城町国民健康保険税条例の一部改正
- ④ 坂城町介護保険条例の一部改正
- ⑤ 平成30年度補正予算
 - ・一般会計(第9号)
 - ・有線放送電話特別会計(第3号)
 - ・国民健康保険特別会計(第4号)
 - ・下水道事業特別会計(第6号)
 - ・介護保険特別会計(第3号)
 - ・後期高齢者医療特別会計(第3号)
- ⑥ 和解及び損害賠償額の決定

(5) 令和元年度補正予算

- ① 一般会計(第1号)
- ② 下水道事業特別会計(第1号)

3 全会一致で否決された議案……なし

政務活動費の収支報告をします

政務活動費は、町政に関する調査研究等に資するために必要な経費の一部として、地方自治法の規定に基づき条例の定めるところにより交付されるものです。(月額5千円、年額6万円)

政務活動費の交付を受けた議員は収支報告書を作成し領収書を添付のうえ、年度終了後、議長に提出しなければなりません。その際、残金が生じた場合は町に返還します。

平成30年度の政務活動費の収支報告は、右のとおりです。

1 予算額 840,000円(60,000円×14名)

2 支出 右表のとおり

3 残余(返還額) 30,123円

項目	支出額(円)	備考
調査研究費	77,770	視察研修等
研修費	318,090	研修会参加等
広報・広聴費	31,904	議員活動の広報
要請・陳情等活動費	9,700	要請・陳情活動等
資料作成費	13,831	資料作成
資料購入費	482,175	参考図書等
事務費	1,640	事務用品
合計	935,110	

支出額は報告された支払総額であるため、予算額を上回る場合があります。

議会事務局人事異動

4月1日付けで、竹内優子係長が福祉健康課の保険係長として異動しました。竹内係長には2年間、議会運営等にご苦勞いただきました。後任として、宮崎あかね係長を派遣先の後期高齢者医療広域連合より迎えました。今後とも、よろしくお願いいたします。

議 会 日 誌 (主なもの)

6月	5月	4月
28日 町例月現金出納検査	28日 町村議会議長・副議長研修会	24日 長野広域連合議会臨時会
12日 議会全員協議会	27日 町例月現金出納検査	25日 町例月現金出納検査
12・28日 議会報編集委員会	24日 初当選議員研修会	
12・21・24日 議会運営委員会	議会議長協議会	
3日 町村議会議長会臨時総会	23日 第2回議会臨時会	
	16日 議会全員協議会	
	13日 議員研修会	

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

教育行政

教育勅語の扱いは

教材としては扱わない

町長 新基本法に「愛国心」の表記があるため、国家優先が危惧されたが、

町長 安倍内閣は、憲法と一体であった教育基本法を根本から改定し、さらに、教育委員会制度の変更、道徳の教科化と教育勅語の使用も認めた。これらのことについての見解は、また、全国統一学力テストの実施と公表については。



大森 茂彦 議員

戦前・戦中の学校の儀式で朗読されていた。戦後まもなく国会で「憲法、教

育基本法の普遍的な理念は変わっていない。新教育委員会制度は、首長が議会の同意を得て直接新教育長を任命するが、教育委員会の執行権は、従来どおりである。

旧基本法の普遍的な理念は変わっていない。新教育委員会制度は、首長が議会の同意を得て直接新教育長を任命するが、教育委員会の執行権は、従来どおりである。

育基本法にもとる」として、失効確認が決議された。今後とも、町では道徳教育の教材としない。

員の授業改善に役立てており、公表は3小学校の平均値のみで、中学校は1校のため公表はしていない。



質問項目

大森 茂彦 議員 9ページ

- ① 町の教育行政はどう変わる
- ② 子どもの健やかな成長のために
- ③ 保育体制はどうなる
- ④ 学校給食費は無償化に

中嶋 登 議員 10ページ

- ① 自殺防止について
- ② 大人の引きこもりについて
- ③ ふるさと納税について

朝倉 国勝 議員 10ページ

- ① 3期目の施政方針について
- ② シティープロモーションについて

玉川 清史 議員 11ページ

- ① 安心・安全な生活道路に
- ② 住宅リフォーム助成制度の拡大を

大日向 進也 議員 11ページ

- ① 中学生のホームステイについて
- ② 坂城町教育現場の「働き方改革」について

栗田 隆 議員 12ページ

- ① 廃プラスチック問題
- ② 高齢ドライバーの免許返納について

小宮山 定彦 議員 12ページ

- ① 公共施設等総合管理計画について
- ② 避難行動要支援者の避難について

祢津 明子 議員 13ページ

- ① 子育て日本一について
- ② 幼稚園、保育園、小学校について
- ③ 児童福祉について

塩野 入 猛 議員 13ページ

- ① 第3期山村町政に向けて
- ② 防災体制の充実・強化

吉川 まゆみ 議員 14ページ

- ① 通学路・歩道の安全対策について
- ② 重度障がい者への支援拡充について

山城 峻一 議員 14ページ

- ① びんぐし湯さん館について
- ② 児童館について

滝沢 幸映 議員 15ページ

- ① 安心・安全なまちづくりについて
- ② 芸術・文化の香りあふれるまちづくりについて

中島 新一 議員 15ページ

- ① ものづくりのまちの取り組みについて



中嶋 登 議員

町の状況は

近年は減少している

自殺問題

問 政府から40才未満の死因の1位は、自殺であると発表されたが、町の10年間の経過は。

保健センター所長 国は、平成18年に、自殺対策基本法を制定し、誰も自殺に追い込まれることのない社会を目指すとし

ている。町では、平成19年5人、20年5人と10年前は県平均を上回っていたが、平成27年2人、28年3人、29年2人、30年1人と近年減少している。

大人の引きこもりは

問 内閣府より推計が公表された。中高年の引きこもりが61万人で、若年との合計は100万人を超えた。町の現状と施策は。

福祉健康課長 19名が引きこもりと報告されてい



人気の返礼品

る。国・県の関係機関と連携し対応する。

ふるさと納税について

問 私が言い出しっぺであり、町長の英断により始まった。ふるさと納税も3年たったが寄附額は。

町長 平成28年度は、2846万円、29年度は、4558万円であり、30年度は、7979万円と前年を大きく上回る寄附があった。

施政方針

3期目の重点施策は

新しい坂城の姿を構築



朝倉 国勝 議員

問 3期目の施政方針について①道路インフ

ラ整備後の周辺の開発は②公共施設の統廃合はどの様に進めるか③新工業団地の進捗状況と完成後の方策は④商業・農業の推進の具体策は。

町長 18号バイパス、「坂城インター線」先線については、工事が始まり推



工事が始まった国道バイパス

進している。渋滞の解消や未事業区間の事業化、併せて完成後の都市計画、用途地域の見直し、農地の確保等将来に向け検討していく。

公共施設の統廃合については、少子高齢化、人口減の社会情勢を踏まえ、更新、長寿命化、統廃合に向けた個別施設計画を策定する。

商工農林課長 新工業団地の進捗状況と今後の方策については、農振地域からの除外手続きと道路線形等の概略設計を実施中で、町中小企業の活性化、さらなる雇用を生み出せる計画にしている。

農業振興では、新規就農者支援、UIJターンの就農支援を行うとともに、農地法の許可要件下限面積を現行の30アール、宅地に付随する農地の取得下限面積については、農業委員会と検討する。

通学路の安全

改修要望箇所を増や

合同点検時に対応



玉川 清史 議員

問 通学路の安全のため、危険箇所改修は、各校で2箇所を選んで、町に

要望しているが、一日でも早く危険箇所を無くすために、要望数を増やすことはできないか。
教育文化課長 もっと多かったこともあったが、PTA役員から実効性を高める対応を求められ、教育委員会と検討して、各校2箇所を重点箇所

とすることを基本とした。なお、警察や各施設管理者が同行する合同点検の時に相談があれば、その2箇所以外でも、対応の検討をしている。

横断歩道の新設を

問 文化センターを利用するときに、新駐車場の利用者の多くが、南側にある横断歩道を使わずに、横断歩道の無い場所を渡っている。障がいのある人や高齢で足腰の弱った人も渡っている。

文化センター利用者の安全のため、横断歩道の新設はできないか。
住民環境課長 今までも町は、毎年警察に要望をしているが、近くに横断歩道があるため、新設は難しいと回答されている。しかし、町としては利用者の安全確保のため、引き続き要望していく。



止まってあげなよ

中学生の海外学習の目的は

坂城町を担う人材育成



大日向 進也 議員

海外学習

問 中学生の海外学習派遣を行うことになった経緯と目的は。

町長 子どもたちの成長段階の機会をとらえ、交流活動や異文化体験を通じ、国際感覚を養うことである。グローバル化が進む町において、その未来を

担う子どもたちの創造性と人間性を育む大切な教育活動である。

問 人数と選考方法は。

教育文化課長 中学2年生8名の参加を予定。2学期に入り、全2年生を対象に英語学習の中で、候補地としてあがった現地の学校との交流を予定。申込書に学校長の推薦書を添え提出し、選考委員が審査し決定する。

問 財源は。

教育文化課長 信州さかさふるさと寄附金のう

ち、応援したいまちづくりの「ふるさとさかさの未来を担う元気な子供たちを応援します」を充て、残りは一般財源から支出する予定。

問 報告会の予定は。

教育文化課長 この体験を学年、クラス等学校内での報告はもとより、報告書にまとめることを計画。また坂城中学校を会場に報告会といった場を設け、全校生徒のほか町民も参加できる報告会を考えている。



シリコンバレー

分別収集は必要か

必要である



プラスチック製容器包装の分別



栗田 隆 議員

問 ゴミの分別収集、特にプラスチックの問題で、2017年に中国が「もう廃プラの輸入はしないぞ」と宣言した。先進諸国の廃プラを中国が受け入れないということになって、東南アジア、中南米の開発途上国へと流れ、その大量の廃プラが海へ流出するということになってしまった。

国内での処理対策が必要で、リサイクルといっても多くは焼却されているのであれば、住民の負担が大きい分別収集はやめてすべて一般ゴミとして出してよいのではないかと。

住民環境課長 ごみの分別については、すべての人々がリサイクルの役割を担うことが、法に明記されている。異物等の混入をなくするため、分別収集には立合いが不可欠で引き続き実施していく。

高齢者の免許

問 高齢ドライバーの免許返納については、農業をしている高齢者にとっては死活問題である。返納を迫るのではなく、安全運転補助機器等の購入への補助金等を出すべきではないか。

住民環境課長 現在そういういった補助はしていないが今後前向きに検討する。

公共建築物

個別施設計画は

いつまでに

今年度と来年度で策定



小宮山 定彦 議員

問 総務省の要請を受けて当町は、平成29年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定した。今年からいよいよ公共建築物の具体的な「個別施設計画」の策定作業が本格化する。策定のスケジュールや手順は。

町長 今年度、長野大学の松下教授に協力を仰ぎ、公共施設の最適な配置方針となる「公共施設の基本構想(グランドデザイン)」を描く。並行してそれぞれの利用状況や劣化の度

合いなどの状況把握を行う。来年度、早い段階で原案を示し、皆さんの意見を聞き策定する。

問 「個別施設計画」策定に向けた施設基礎調査は実施したのか。

企画政策課長 昨年度、半分の施設の簡易劣化調査をし、残りは今年度の

実施を予定している。
問 その調査に何らかの耐震に関する調査は、含まれているのか。
企画政策課長 含まれていない。

問 支援関係者への名簿情報提供以後、現在の作成状況と今後の進め方は。
福祉健康課長 現段階で名簿の提供をしたのは2地区。作成に向けて個別での説明を進める。

要支援者の個別計画



一足早く本年度解体予定の旧学校給食センター



阿部 明子 議員

その施策は

総合的に日本一を目指す

子育て日本一

問 日本一を目指すための施策についての考えは。
町長 現在、様々な子育て施策を行っている。先行的な市町村の事例を参考に子育て支援、教育の充実などで総合的に日本一を目指していく。

問 企業内保育促進についての考えは。
町長 工業団地拡張や基幹道路の整備が進み、就労者数増加も期待されることから、今後、事業所の皆さんから申し出や相談に応じ検討していく。

問 外国籍の子どもについての対応は。
教育文化課長 外国人従業員を雇用する事業所にも協力をいただき、日本語や生活習慣習得のための支援をし、国籍にとらわれないこと、伸び伸び学び、遊ぶことができ

る環境づくりに努める。
問 幼保小の連携は。
子ども支援室長 保育士、教諭などと子どもの変化や様子について意見交換をしている。教育コーディネーターや教育心理カウンセラーによる相談体制を整え、垣根を越えた連携や支援ができるように取り組む。

問 保護者アンケートの対応は。
子ども支援室長 第2期子ども・子育て支援事業計画に反映する。



(株)西澤電機計器製作所の託児所



AEDの講習(網掛自主防災会)

問 「活力あふれた輝く元気な町づくり」の実現に向けた、3期に向



塩野入 猛 議員

けた、3期に向けた、3期に向

第3期町政

山村町政の位置づけは

実のある4年間に

かう山村町政の位置づけは。また、力を入れていくものは何か。

来年度は、旧村上村編入合併60年に当たるが、記念行事、記念誌の発行の考えは。

町長 弛まぬ挑戦をして1・2期のさらなる推進を図り、より多くの花を

咲かせ、元気な実を実らせる4年間にしたい。1期から継続している4つの柱を軸に第6次長期総合計画を策定する。平成の30年間にまとめたい記録は必要と思うが、相談しながら考えていく。

防災体制の充実・強化

問 自然災害が頻発し、気象条件が急激に変化している。同報系防災行政無線が構築され、移動系防災無線も予算計上された中で、早急に新しい防災体制を築き上げることが必要。災害時業務継続計画BCPの策定は。

住民環境課長 防災行政無線の整備に伴い、また人口、備蓄量等の検討をして、早期に防災計画を見直していく。

総務課長 BCPは、昨年取り組み、現在集約・確認作業を進めている。防災計画に取り込めるか、検討している。



吉川 まゆみ 議員

通学路

産業道路歩道の 安全対策は

対策を研究する

問 歩行者の尊い命が奪われる事故が後を絶たない。朝の通学路の状況は、通勤の車がひっきりなしに行きかう中、その道路沿いを登校班が歩いていく。地域によっては、見守りボランティアや安協の方々が、連日子

どもたちの安全のため、早朝から活動されている。南条小学校通学路、金井から小学校東までの産業道路は、歩道はあるが通学路としては大変危険である。その安全対策は、建設課長 現在、交付金

事業を取り入れ道路拡幅に向け事業実施しているが、道路全体の拡幅には至っていない。**問** 道路拡幅が完了するまでの歩道への安全対策の取り組みは。建設課長 車道・歩道の分離を明確化できるガードポールなどの設置を含め、何らかの対策を研究するなかで、安全対策を講じていく。

問 非常時や停電時の電源確保に発電機が必要。購入に補助を。福祉健康課長 自立支援用具や在宅療養等支援用具として日常生活用具の品目に加えられるか検討する。

在宅障がい者の 支援拡充を

問 びんぐし湯さん館の収支の状況、入館者数の推移は。また、年間券、半年券の利用状況は。

町長 利用者数の推移は、平成28年度が26万3912人、平成29年度が25万3762人、平成30年度が25万

料金改定の予定は

振興公社の取締役会で決定



山城 峻一 議員

湯さん館

393人で、現在累計470万人であり、来年度中には500万人に到達できればと思っ

る。収支について平成27年度から平成29年度では30万円から40万円の利益があり、各年度も黒字で推移している。

年間券、半年券の状況は、年間券を利用している75歳未満の方は、町内103名、町外で千曲市18名、上田市18名、長野市2名、東御市2名であり、75歳以上の方は、町内

50名、千曲市6名、上田市12名である。小学生は町内が2名である。半年券を利用している75歳未満の方は、町内が71名、千曲市14名、上田市34名、長野市1名であり、75歳以上の方は、町内が31名、千曲市2名、上田市6名である。

問 料金改定の予定は。

町長 温泉施設条例の利用料限度額の改定案を議会に上程しているが、時期と料金は、町振興公社の取締役会にて決定する。



いい湯だな



今日も無事故で

高齢者の発生件数は

平成30年71件

交通事故



滝沢 幸映 議員

183人が交付を受けた。
経歴証明書交付手数料1100円の補助と優遇策への考えは。

住民環境課長 受益者負担の原則もあり、補助は考えていない。また、町循環バスの運賃無料が優遇策と認識している。
町長 移動の手段として色々考えて行く必要がある。

る。付加的なサービスを検討して行きたい。

当町美術家の作品展を

当町に寄贈された美術品の点数は。また、当町出身美術家の作品展を様々なイベントで。

町長 現在、役場や文化センターに展示・保管している絵画、書などの美術品は約150点。うち60点は、役場庁舎に展示している。企画展については、イベントの主催者や関係機関と連携を図り、研究していく。

町長 移動の手段として色々考えて行く必要がある。

企業施策

事業所支援の

取り組みは

制度や活用の周知をする



中島 新一 議員

事業所への支援について、補助金制度の利用状況と窓口は。創業支援施設の実績と現状は。人材育成への取り組みは。

町長 ものづくりの町としての取り組みは、「事業所」「働く方」「施設等の整備」「人材育成」等の支援を行っている。また、赤坂のテックショップジャパンとの法人契約を締結し、コトづくりイノベーション補助金制度を創設した。テクノセンターやテクノハート、

能力開発学院などと連携し講習会を開催している。地元中高生や連携協定を結んでいる4大学の学生に、町内企業へ就職を促す職場体験や企業見学も行っている。さらに発展できるように関係機関と連携していく。
商工農林課長 商工業振興補助金として、30年度

は30件1030万円交付した。他に商業店舗活用補助金などがあり、商工農林課の窓口で案内している。今後も、制度や活用の周知をしていく。子育て世代の支援は勤務地に近い保育園を利用できる広域入所制度がある。
また、育児・介護休業法により休業の分割や経済的支援の法的整備が整った。BIプラザはこれまで25社が利用した。そのうち独立したのが6社で3社が町内で操業している。



交通安全運動中



来たれ起業家

ここ1カ月あまり、高齢ドライバーによる重大事故が発生している。交通事故ゼロに向けた取り組みと免許証自主返納、運転経歴証明書の状況は。
住民環境課長 千曲安協女性部の高齢者宅訪問をはじめ、交通安全運動の際、啓発活動に努めている。
自主返納者は、28年から本年5月末で205人。また、経歴証明書は同期

あすなろたち

心・技・体を鍛える

全員野球！心をひとつに

～坂城千曲少年硬式野球～

「バッチこーいー！」
「ピッチャーがんばれー！」
子供たちの元気な声が、週末になると運動公園のグラウンドに響き渡ります。

私たちが少年硬式野球では「全員野球！心をひとつに」をモットーに日々練習に励んでいます。

現在、マイナーリーグ（小学5年生以下）では13名、リトルリーグ（小学6年生、中学1年生）では7名、シニアリーグ（中学2・3年生）では16名の選手が汗を流しています。

今春の大会は、予選こそ勝ち進みましたが、本大会ではあと一步のところで敗退してしまいました。過去にはマイナー、リトル、シニア、それぞれ全国大会に出場した輝かしい戦績もあります。

野球技術の向上だけではな

く、健康的な体づくりはもちろん、感謝の気持ちを忘れずに、大切な仲間と技と心を磨きあう、「心・技・体」をバランスよく学ぶことができま

す。
とりわけ、挨拶や返事などの礼儀、道具を大切にすることを育むことには、根気強く徹底して指導しています。

練習は厳しく、時には汗に



混じって涙も流されることもあります。その悔しさ、その頑張りがその子を強くします。汗も涙も流した分だけ子供は成長しています。

スポーツには勝ち負けが付いてきますが、勝ち負けだけじゃない、それ以上のもが付いてきます。

将来のために、野球を通じて、人として大切なことを身につけてほしいと思います。

（スポーツ少年団硬式野球

岡下 康仁）

選手募集中!

野球に少しでも興味がある方！一緒にやってみませんか!
連絡先：事務局 中村 TEL 090-9660-5874



余光

◆平成から令和になり、時を同じくして議会構成が変わり、議会報編集委員会のメンバーも一新しました。過去2年間がベテラン揃いだっただのに対し、フレッシュな陣容です。今後2年間、宜しくお付き合い下さい。ともかくにも「読んでもらえる」紙面づくりを心がけます。ご意見をお寄せください。

◆この編集後記を余光（日没の後に残っているひかり）としました。（小宮山 定彦）

発行責任者

議長

西沢 悦子

議会報編集委員会

委員長

小宮山定彦

副委員長

山城 峻一

委員

玉川 清史

栗田 隆

大日向進也